



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 北興化学工業株式会社

コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 喜勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 竹田 正雄

TEL 03-3279-5152

四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日

配当支払開始予定日

平成26年8月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	24,113	14.0	1,521	168.2	1,397	85.4	826	97.5
25年11月期第2四半期	21,159	△3.0	567	△14.7	753	47.9	418	333.3

(注)包括利益 26年11月期第2四半期 667百万円 (△48.6%) 25年11月期第2四半期 1,296百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	29.95	—
25年11月期第2四半期	15.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年11月期第2四半期	45,851		15,054		32.8
25年11月期	41,462		14,499		35.0

(参考)自己資本 26年11月期第2四半期 15,054百万円 25年11月期 14,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年11月期	—	4.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,900	5.4	1,000	89.2	1,000	24.8	600	23.1	21.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期2Q	29,985,531 株	25年11月期	29,985,531 株
② 期末自己株式数	26年11月期2Q	2,409,680 株	25年11月期	2,403,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期2Q	27,578,870 株	25年11月期2Q	27,586,474 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げの影響により、個人消費や生産に弱さが見られるものの、雇用情勢や企業収益の改善、設備投資の増加など緩やかな回復基調が続いています。一方、円高是正と新興国の旺盛な需要を背景とした原材料価格の上昇、アメリカの金融緩和縮小の見通しや中国を中心とした新興国経済の下振れリスクは、わが国経済に与える影響が大きいことから、今後の回復基調の継続は不透明な状況にあります。

国内農業につきましては、農業従事者の高齢化、後継者不足や耕作放棄地の増加など構造的な問題を抱え厳しい状況が続いています。これに対し政府は「農林水産業・地域の活力創造本部」において、農林水産業の強化策である「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂版を公表し、TPP交渉の行方を見据えた農政改革推進の意向を表明しております。

このような状況のもと、当社グループの第2四半期の業績は、農薬製品の販売において、流通在庫の減少などにより出荷が増加したことに加えて、ファインケミカル製品においても、主に国内の受注が好調に推移したことから、全体の売上高は241億1千3百万円（前年同期比29億5千4百万円の増加、同14.0%増）となりました。

利益面では売上高が増加したことなどにより、営業利益は15億2千1百万円（前年同期比9億5千4百万円の増加、同168.2%増）、経常利益は13億9千7百万円（前年同期比6億4千3百万円の増加、同85.4%増）、四半期純利益は8億2千6百万円（前年同期比4億8百万円の増加、同97.5%増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品は、国内販売において、主に流通在庫の減少により水稲用除草剤、水稲育苗箱処理剤などの出荷が増加したことから、大幅な増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は178億5千4百万円（前年同期比20億2千3百万円の増加、同12.8%増）、営業利益は10億1千2百万円（前年同期比4億9千5百万円の増加、同95.9%増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、樹脂添加剤、電子材料原料、医農薬中間体などの主力製品を中心に受注が好調に推移したことにより増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は62億1千9百万円（前年同期比9億5千4百万円の増加、同18.1%増）、営業利益は5億4百万円（前年同期比4億6千5百万円の増加、同1,208.6%増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、セグメント利益の算定にあたり全社費用の配賦方法を見直しております。これは、当期に新基幹システムを導入したことに伴い、業績管理方法の見直しを行った結果、従来配賦不能費用としていた全社費用を各セグメントに配賦することとしたものであります。この変更に伴い、前年同期のセグメント利益につきましても変更後の算定方法に組替えております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は458億5千1百万円となり、前連結会計年度末比43億8千9百万円の増加となりました。これは、農薬の需要期となる上半期の季節的変動による受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は307億9千7百万円となり、前連結会計年度末比38億3千4百万円の増加となりました。これは、未払費用の減少はありましたが、上記売上債権等の季節的変動に伴う短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は150億5千4百万円となり、前連結会計年度末比5億5千5百万円の増加となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金の増加が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、24億8千3百万円の支出超過(前年同期は27億2千2百万円の支出超過)となりました。これは、主に未払費用の減少並びに農薬の需要期となる上半期の季節的変動による売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、5億6千6百万円の支出超過(前年同期は9億7千1百万円の支出超過)となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、33億9千9百万円の収入超過(前年同期は36億2千2百万円の収入超過)となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は期首残高より3億3千6百万円増加し、13億5千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期決算発表時(平成26年1月14日)に公表いたしました通期連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022	1,358
受取手形及び売掛金	12,719	17,733
商品及び製品	9,695	8,067
仕掛品	205	315
原材料及び貯蔵品	3,354	4,581
繰延税金資産	670	531
その他	291	363
流動資産合計	27,955	32,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,673	4,447
機械装置及び運搬具(純額)	3,145	2,786
土地	776	776
その他(純額)	290	248
有形固定資産合計	8,884	8,257
無形固定資産		
ソフトウェア	27	575
その他	866	384
無形固定資産合計	893	959
投資その他の資産		
投資有価証券	2,759	2,680
繰延税金資産	623	674
その他	361	346
貸倒引当金	△12	△14
投資その他の資産合計	3,730	3,686
固定資産合計	13,507	12,903
資産合計	41,462	45,851

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,736	8,591
短期借入金	4,995	8,402
1年内返済予定の長期借入金	1,846	1,486
未払法人税等	152	516
未払費用	3,663	2,631
その他	1,805	2,037
流動負債合計	20,196	23,664
固定負債		
長期借入金	2,944	3,395
退職給付引当金	3,531	3,501
資産除去債務	57	56
その他	234	181
固定負債合計	6,767	7,133
負債合計	26,963	30,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	8,250	8,965
自己株式	△997	△998
株主資本合計	13,076	13,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,118
繰延ヘッジ損益	15	△3
為替換算調整勘定	175	149
その他の包括利益累計額合計	1,423	1,264
純資産合計	14,499	15,054
負債純資産合計	41,462	45,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	21,159	24,113
売上原価	16,556	18,429
売上総利益	4,603	5,684
販売費及び一般管理費	4,036	4,163
営業利益	567	1,521
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	43
為替差益	319	—
受取手数料	103	91
その他	43	44
営業外収益合計	491	178
営業外費用		
支払利息	106	87
たな卸資産廃棄損	118	128
その他	81	87
営業外費用合計	304	301
経常利益	753	1,397
特別利益		
固定資産売却益	1	0
事業譲渡益	—	42
特別利益合計	1	42
特別損失		
固定資産除却損	36	8
その他	0	—
特別損失合計	36	8
税金等調整前四半期純利益	719	1,431
法人税等	300	605
少数株主損益調整前四半期純利益	418	826
四半期純利益	418	826

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	418	826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	510	△115
繰延ヘッジ損益	14	△18
為替換算調整勘定	354	△27
その他の包括利益合計	878	△159
四半期包括利益	1,296	667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,296	667
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	719	1,431
減価償却費	795	800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	△30
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△74
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	1
受取利息及び受取配当金	△26	△43
支払利息	106	87
事業譲渡損益(△は益)	—	△42
売上債権の増減額(△は増加)	△2,946	△5,017
たな卸資産の増減額(△は増加)	368	282
仕入債務の増減額(△は減少)	62	856
未払費用の増減額(△は減少)	△1,518	△1,030
その他	△179	432
小計	△2,617	△2,347
利息及び配当金の受取額	26	43
利息の支払額	△108	△91
法人税等の支払額	△54	△89
法人税等の還付額	30	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,722	△2,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△98
有形固定資産の取得による支出	△781	△474
有形固定資産の売却による収入	2	0
事業譲渡による収入	—	42
その他	△191	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△971	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,736	3,414
長期借入れによる収入	1,297	1,200
長期借入金の返済による支出	△1,298	△1,103
配当金の支払額	△110	△110
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,622	3,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	182	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	111	336
現金及び現金同等物の期首残高	1,098	1,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,209	1,358

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,831	5,266	21,097	63	21,159	—	21,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	193	193	△193	—
計	15,831	5,266	21,097	256	21,353	△193	21,159
セグメント利益	517	39	555	12	567	—	567

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 平成25年12月1日開始の連結会計年度より、セグメント利益の算定方法を変更したことに伴って、前第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)のセグメント利益を変更後の算定方法による数値に組替えて表示しております。これにより、従来の算定方法によった場合に比べて、セグメント利益が、農薬事業において230百万円、ファインケミカル事業において101百万円それぞれ減少しております。算定方法の変更内容につきましては、「II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日) 2. 報告セグメントの変更等に関する情報」をご覧ください。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,854	6,219	24,073	40	24,113	—	24,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	240	240	△240	—
計	17,854	6,219	24,073	280	24,353	△240	24,113
セグメント利益	1,012	504	1,516	5	1,521	—	1,521

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結累計期間より、全社費用の配賦方法を見直しております。これは、当期に新基幹システムを導入したことに伴い、業績管理方法の見直しを行った結果、従来配賦不能費用としていた全社費用を各セグメントに配賦することとしたものであります。

この変更に伴い、前年同期のセグメント利益につきましても変更後の算定方法に組替えております。組替え後の数値につきましては、「I. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日) 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。